

東日本大震災現地NPO応援基金〔特定助成〕
大和証券フェニックスジャパン・プログラム 2014
－被災地の生活再建に取り組むNPOの人材育成－

実施報告書

(2014年10月～2015年9月)

2016年5月10日

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター
特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

1. プログラム概要

- 本プログラムは、大和証券株式会社による「ダイワ・ニッポン応援ファンド Vol.3ーフェニックスジャパンー」の信託報酬の一部をご寄付いただき、認定特定非営利活動法人日本NPOセンターが「東日本大震災現地NPO応援基金」の特定助成として、特定非営利活動法人市民社会創造ファンドと協力して実施しています。
- 東日本大震災の復興支援（被災者の生活再建等の支援）のため、NPOの果たす役割には、大きな期待が寄せられています。しかしその組織基盤は未だ弱く、必要な支援を自力で安定的に供給するためには組織の基盤強化が必要であり、特に適切な人材の確保と育成が不可欠です。このプログラムではそのような人材を雇用から支援し育成することで、被災者の生活再建への寄与を願うものです。

●プログラム概要

- ・プログラム名 東日本大震災現地NPO応援基金〔特定助成〕
大和証券フェニックスジャパン・プログラム
- ・テーマ 被災地の生活再建に取り組むNPOの人材育成
- ・助成対象 岩手県、宮城県、福島県等において被災者の生活再建を長期的視点で支援する「現地NPO」
- ・実施期間 2012～2016年（予定）
- ・助成方法 公募助成（毎年1回の公募）
- ・助成期間 1年間（10月～翌年9月）
- ・助成額 1件あたりの助成額：新規助成 500万円、継続助成 400万円
年間助成総額 3,500万円程度
- ・助成実績
2012年 3,100万円（新規助成 7件、合同研修助成 150万円）
2013年 3,503万円（新規助成 5件 1,860万円、継続助成 4件 1,493万円、合同研修助成 150万円）
2014年 3,210万円（新規助成 7件 2,325万円、継続助成 2件 685万円、合同研修助成 200万円）
2015年 3,680万円（新規助成 6件 2,489万円、継続助成 3件 941万円、合同研修助成 250万円）

2. 2014 年助成プログラムの経過と結果

(1) 2014 年助成プログラムの経過

2014 年助成は、2014 年 10 月に助成を開始し、2015 年 9 月に 1 年間の助成期間を終了した。
 対象団体は 9 団体・対象スタッフ 9 名であった。

<2014 年助成対象一覧>

【新規助成】 7 件／助成額：2,325 万円

No.	プロジェクト名	団体名	所在地	金額 (万円)
1	被災地における NPO 中間支援組織スタッフの組織運営力とまちづくりコーディネートの力の向上	特定非営利活動法人 夢ネット大船渡	岩手県	351
2	被災地における障害児支援スタッフ育成	特定非営利活動法人 いわて発達障害サポートセン ターええ町づくり隊	岩手県	319
3	被災地における若者定住者創出のための若年無業者支援の専門家育成	一般社団法人 SAVE TAKATA	岩手県	388
4	地域まちづくりにおける次世代リーダーの支援力の向上	特定非営利活動法人 海への森をつくろう会	宮城県	280
5	浦戸寒風沢コミュニティハウスの管理業務を担う農業指導員の育成	特定非営利活動法人 浦戸アイランド倶楽部	宮城県	326
6	原発被災者の長期支援を目指した事業責任者育成を通じた組織基盤強化	一般社団法人 情報センターFais	福島県	331
7	障がい児者家族支援サポートのための専門スタッフ育成	特定非営利活動法人 ふよう土 2100	福島県	330

【継続助成】 2 件／助成額：685 万円

No.	プロジェクト名	団体名	所在地	金額 (万円)
1	大槌たすけあいセンターにおけるスタッフの地域復興へのセルフケア力の育成(2)	特定非営利活動法人 遠野まごころネット	岩手県	315
2	福島農業の復興に向けた 6 次化人材育成プログラム～コーディネート&財務マネジメント力の育成～(2)	一般社団法人 ふくしまかーちゃんのカネット ワーク	福島県	370

※このほかに助成対象団体の合同研修会の開催費として 200 万円

※助成対象件数 10 件(新規助成 7 件、継続助成 2 件、合同研修助成として 1 件)

※助成総額 3,210 万円(合同研修助成金 200 万円を含む)

（２）2014 年助成の結果

2014 年助成による各団体のスタッフ育成の結果は以下の通りであるが、概況は次のように考えられる。助成によるスタッフ育成の内容と方法については、対象スタッフが担当する事業に関して活動現場での実践研修や外部研修、団体の運営基盤を支える総務・経理に関する講座受講が目立った。また、類似の事業を行う先進団体への訪問や、インターンを行うなど他団体の知見から学ぶ取り組みも多くみられた。

成果としては、福祉事業所を運営する団体の場合は、責任者等の資格取得や支援力の強化により、事業所の立ち上げや新規事業の開始、業務のスムーズな運営に繋がったことがあげられる。また、活動の柱となるプロジェクトに関わる事業においては、プロジェクトリーダーを育成し、プロジェクトの収支も含めた企画・運営力の向上に繋がった。

震災後 4 年がたち、被災地域におけるニーズは、緊急救援期から復興期へと変化している。本プログラムの助成対象である現地NPOも、その変化にともない組織の形態、スタッフの体制、主軸となる事業など否応なく見直しを迫られる時期にきている。

2014 年助成対象の団体は、このように激しく変わる周囲の環境、組織のありようを見直すため、あるいは見直した結果、人材育成に取り組んだのではないか。そのため、「組織の中核となるスタッフの育成」という本助成プログラムの趣旨が、ようやく現状に沿ってきたようである。

事務局としては、このことを踏まえて、より効果的な研修事業やフォローアップの方法、そしてプログラムそのものの仕組みについても検討を重ねたい。

【新規助成】

● 特定非営利活動法人 夢ネット大船渡

「被災地におけるNPO中間支援組織スタッフの組織運営力とまちづくりコーディネータ力の向上」

（育成対象スタッフ 1 名／事務局中核スタッフ、地域コーディネーター）

団体の概要

大船渡市、陸前高田市、住田町の官民協働を推進し、地域の活性化と NPO の中間支援を行うことを目的に設立された。震災後は、緊急救援期の対応や、仮設住宅での生きがい支援、被災者支援情報誌「復興ニュース」の月 2 回発行、そして三陸鉄道南リアス線盛駅の駅舎の活用を行っている。

助成によるスタッフ育成内容と方法

今回の事業では、日本 NPO センターが発行したテキスト「NPO を磨く 15 の力」をスタッフ間で学びながら、育成対象スタッフが中心となり公開で「15 の力」講習会の開催を計画した。また、団体の自主財源確保に向けて実践研修を行った。

成果と課題

「15 の力」を育成対象スタッフのみならず全スタッフで学ぶことにより、団体のミッションの見直しを図ることができた。また、団体のスタッフ、理事同士で学びを深めることにより、NPO としての社会的責任を自覚しながら活動に取り組むようになった。

なお、2015 年 6 月末をもって当該の育成対象スタッフが退職したため、同時点をもって本育成事業を終了した。

- ・代表者：理事長 岩城恭治
- ・所在地：岩手県大船渡市
- ・設立年：2006 年
- ・活動地域：岩手県大船渡市、陸前高田市、住田町
- ・<http://npoyumenet.web.fc2.com/>



●特定非営利活動法人 いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊

「被災地における障害児支援スタッフ育成」
(育成対象スタッフ 1名/主任支援相談員)

団体の概要

自閉症などの発達障がい児者が自立して暮らせるまちづくりを推進することを目的に設立された。震災後は、障がい児者へのサービスが皆無であった陸前高田市に団体の支部を設け、市内で初となる各種制度事業を展開している。

・代表者:代表理事 熊本葉一
・所在地:岩手県陸前高田市
・設立年:2003年
・活動地域:岩手県陸前高田市
・<http://aamachi.web.fc2.com/>

助成によるスタッフ育成内容と方法

今回の事業では、団体内での定例ミーティングによるフォローに加え、各種研修会への参加、支援アドバイザーを起用するなど対象スタッフの支援力の向上を図った。

成果と課題

組織内部での意思疎通の回数を重ねることで組織全体の支援力の向上に繋がった。陸前高田の支部を、対象スタッフが中心となり運営できるようサポートしたことで、自信を持って利用者の対応ができるようになった。それにより、他の団体スタッフのモチベーションの向上に繋がった。利用者のニーズが高まる中で、スタッフの体制や施設の整備などさらなる組織基盤の強化が望まれる。

●一般社団法人 SAVE TAKATA

「被災地における若者定住者創出のための若年無業者支援の専門家育成」
(育成対象スタッフ 1名/事務局長、若年無業者支援の専門家)

団体の概要

陸前高田市の復興、発展のために被災者とUIターナーが協働し、「米崎りんごの7次化」「ITによる人材育成」「若者の場づくりと情報発信による若者流入」に関する事業を実施。「就農者創出+雇用創出+定住者創出=人の創出」を目指している。

・代表者:代表理事 佐々木信秋
・所在地:岩手県陸前高田市
・設立年:2011年
・活動地域:岩手県陸前高田市
・<http://savetakata.org/>

助成によるスタッフ育成内容と方法

陸前高田において若者の定住者を増やすために、若年無業者をターゲットに自立・定住促進の事業を推進。今回の事業では、その専門家を育成するため、若年無業者支援を行う「NPO法人育て上げネット」の協力をおおぎ、現状把握と現場研修を実施。最終段階では対象スタッフが中心となり、陸前高田における若年無業者自立支援事業の策定を行った。



成果と課題

研修で得られたことを内部共有することにより、他のスタッフも若年無業者への理解が深まり、チームでの対応が可能となった。また、陸前高田における若年無業者自立支援事業については、地域の自動車教習所と共同した具体的なプログラムに結びつけることができ、予算の調達まで行うことができた。これにより団体の財政基盤の強化にもつながった。今後は、事業の確実な展開と地域への定着に向けて各関係主体との連携強化を図っていく。

●特定非営利活動法人 海べの森をつくろう会

「地域まちづくりにおける次世代リーダーの支援力の向上」

(育成対象スタッフ 1名/事務局スタッフ)

団体の概要

気仙沼の波路上地域において、震災により失われてしまった屋敷林の再生にむけた植樹活動を行うとともに、自治会等の地域団体と連携しながら防災や地域文化への意識を高める啓発活動を行なっている。

助成によるスタッフ育成内容と方法

地域住民により結成された同団体において、多種多様な事業展開をはかるためには事務局機能の整備が必要であった。そのため、本事業においては、NPOの運営(会計、広報など)に関する研修に参加するとともに、防災教育について先進地から学んだ。また、OJTにより各種関連団体やボランティアとのネットワークを構築した。

成果と課題

NPO運営の1年間のサイクルを理解できたことで、対象スタッフ自身で年間を通じた団体運営が可能となった。また、先進地から学んだり育成事業で築いてきたネットワークを活用することにより、新たな観点からの各種事業の企画立案やよりスムーズなボランティア対応を行うことができた。今後も息の長い活動とするために、収益につながる事業の確立が急務である。

- ・代表者:理事長 菅原信治
- ・所在地:宮城県気仙沼市
- ・設立年:2012年
- ・活動地域:宮城県気仙沼市、大崎市、岩手県陸前高田市
- ・<http://umibenomori.jp/>



●特定非営利活動法人 浦戸アイランド倶楽部

「浦戸寒風沢コミュニティハウスの管理業務を担う農業指導員の育成」

(育成対象スタッフ 1名/農漁業プログラムリーダー、事務局長)

団体の概要

宮城県の浦戸諸島の中で唯一水田が残る寒風沢島において、津波で壊滅的な被害を受けた農業、漁業の産業基盤の再生のために、自然環境の再生、アグリビジネス、グリーンツーリズム、食育事業などを行っている。

助成によるスタッフ育成内容と方法

今回の事業では、島における農漁業を発信するプログラムのリーダーを目指し、グリーンツーリズム・インストラクターや食育等に関する勉強や資格取得のための講座を受講。あわせて同様の事業を行う先進地への視察を行った。また、NPOの事務局を担うことからNPO会計や運営に関する研修に参加した。

成果と課題

ツーリズムに関する事業については、実践的な知識を広げ、企画、広報、実施、フォローまでを対象スタッフが中心となり実施できるようになった。宮城県や塩竈市に対しても、対象スタッフを中心に様々な機会を通じて要望や提案をすることにより、団体として今後の連携に繋がっている。また、対象スタッフがNPOの運営能力を高めた事で事務局長を任されることとなった。対象スタッフは、事務局運営と事業実施を担当しており、集中する業務負担を軽減するなどの組織のマネジメント体制の整備が今後の課題となっている。

- ・代表者:理事長 大津晃一
- ・所在地:宮城県塩竈市
- ・設立年:2012年
- ・活動地域:宮城県塩竈市浦戸寒風沢
- ・<http://www.sabusawa.com/>



●一般社団法人 情報センターFais

「原発被災者の長期支援を目指した事業責任者育成を通じた組織基盤強化」
(育成対象スタッフ 1名/小規模デイサービス施設責任者)

団体の概要

田村市都路地区住民に対して仮設住宅の見守り、高齢者の安否確認、移動困難者への移送サービスなどを行っている。また、2014年の避難指示解除後は、同地区において帰還住民を対象としたサロン事業、小規模デイサービス事業を開始した。

助成によるスタッフ育成内容と方法

団体の収益事業となる小規模デイサービス事業の責任者を育成するために、OJTや外部講師による介護請求業務の指導研修を実施。また、NPO運営に関する講座や同地区でもニーズの高い福祉有償運送の講習会に参加した。

成果と課題

今回の育成事業によって、対象スタッフは事業所のリーダーに成長するとともに、介護保険請求業務を団体として自前で行えるようになり、事業基盤の強化につながった。また、NPO運営の理解を深めることで、地域における同団体の役割をより明確に認識するようになり、事業の促進に繋がった。避難解除後の地域において、帰還を選択する人しない人、避難地域の線引きによって深まった人間関係の溝など地域的な課題が山積する中で、自立的な運営にむけて、どのように利用者確保していくのが課題である。

- ・代表者: 代表理事 菅野芳信
- ・所在地: 福島県田村市
- ・設立年: 2012年
- ・活動地域: 福島県田村市



●特定非営利活動法人 ふよう土 2100

「障がい児者家族支援サポートのための専門スタッフ育成」
(育成対象スタッフ 1名/事業所管理責任者)

団体の概要

いわき市や郡山市において、障がい児の被災者家族のためのサポート事業や被災地域における体験型のスタディツアー、記録活動を行なう。現在は、子ども障がい児の支援や居場所としてのサロンや、児童デイサービス事業所等の運営も行っている。

助成によるスタッフ育成内容と方法

同団体が郡山市で運営する障がい児および家族のための「交流サロンひかり」の利用者ニーズに応え、放課後等デイサービスおよび日中一時支援事業所の立ち上げを計画。本計画に関わるスタッフの障がい児支援力の向上のためにOJT、外部研修、他の障がい児支援への視察を行った。

成果と課題

対象スタッフは支援力を高めるとともに、外部研修により児童発達支援管理責任者の資格を取得したことにより、2015年に新たに事業所「放課後等デイサービスがっこ」が立ち上がった。これにより事業収入を得ることができるようになり、自立した運営基盤の強化につながった。また、就労継続支援B型事業所の開始等の次なる目標設定につながった。今後もNPOだからこそ可能な事業所の在り方を、現場の経験をふまえて追求していく。

- ・代表者: 理事長 里見喜生
- ・所在地: 福島県いわき市
- ・設立年: 2011年
- ・活動地域: 福島県いわき市、郡山市
- ・<http://npo-fuyodo2100.org/>



【継続助成】

●特定非営利活動法人 遠野まごころネット

「大槌たすけあいセンターにおけるスタッフの地域復興へのセルフケア力の育成（2）」
（育成対象スタッフ 1名／就労支援センター生活支援員）

団体の概要

この団体は、総合的な被災地支援センターとして、「緊急対応的支援」と「中長期の復興支援」を組み合わせたサポート体制をつくり、避難者支援、コミュニティ再生支援、産業再生支援等を行なっている。

助成によるスタッフ育成内容と方法

2014年に立ち上がった地域の支援拠点「大槌たすけあいセンター」において、日常的に地域の見守りを果たしていく現地住民スタッフの支援力強化を行った。実践的な取り組みとして、センターを利用する障がい者・高齢者への就労支援プログラム開発を担当するとともに、同事業を行う先進団体・施設の視察を行った。

成果と課題

就労支援プログラムで開発した商品づくりを行うことで、施設の運営基盤強化につながった。また地元住民でもある対象スタッフが支援力を向上させ、地域において生活・就労支援や相談を気軽に受けられる人材となることで、継続的に「地域の人が地域を守る」体制づくりに繋がった。今後は、一般就労など個々の利用者のニーズに合わせた支援を行うため、支援拠点外においてもその役割が求められつつある。

・代表者:理事長 多田一彦
・所在地:岩手県遠野市
・設立年:2011年
・活動地域:岩手県大槌町ほか沿岸被災地域
・<http://tonomagokoro.net/>

●一般社団法人 ふくしまかーちゃんのカネットワーク

「福島農業の復興に向けた6次化人材育成プログラム～コーディネート&財務マネジメント力の育成～（2）」
（育成対象スタッフ 1名／事業コーディネーター・財務マネージャー）

団体の概要

福島原発等の被害を受けた福島県内の女性農業者を支援するため、彼女たち（かーちゃん）の有する知恵と技能を活かし、6次化商品の販売、産直レストランカフェや農園の運営、各種復興支援団体とのネットワークづくりを行う。

助成によるスタッフ育成内容と方法

かーちゃんのカネットワークをさらに広げるために活動の中でコーディネート力を強化するとともに、かーちゃんによる6次化商品のPRのために物産展や復興イベントへの参加や、SNSやHPの活用に関する講習を受講した。

成果と課題

これまでの研修や実践を通じて、オリジナル商品の開発や、かーちゃんたちの商品開発の相談相手となった。2015年8月に団体の事業を再編し新たにNPO法人を立ち上げることとなり、かーちゃんのカネットワーク事業や6次化事業は引き継がれた。なお、2015年8月末をもって当該の育成対象スタッフが退職したため同時点で本育成事業を終了した。

・代表者:代表理事 松野光伸
・所在地:福島県福島市
・設立年:2012年
・活動地域:福島県内全域